

序章

三豊が一番をめざして

この前期基本計画では、基本構想において定めた「自主・自立」という基本理念に基づき、本市の将来像である「豊かさ」をみんなで育む市民力都市・三豊を実現するため、6つの分野に区分して施策の大綱を示し、それぞれ取り組むべき主要事業を体系的に整理しています。

しかし、緊急かつ重大な課題である「財政の健全化」への手を緩めることはできず、“財源は限られたもの”という認識を風化させることなく、その実施にあたっては、真に効果の見込める事業を選択し、客観的な行政評価システムを取り入れて検証することが求められています。

特に、基本計画の前期5年は、その動きをより鮮明に、より確実にするために極めて重要な期間であり、「選択と集中」という考え方の下、重要性と先導性を持ち、なおかつ分野横断的に取り組むべき重点施策を選択し、市民力を結集する手段として、それぞれの施策ごとに数値目標を明らかにし、「一番」を目指そうとするエネルギーを呼び覚まして取り組むものです。



